



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151（代表）

担当者の所属・氏名 女性総合診療部 金城 国俊

【研究責任者】

聖路加国際病院 女性総合診療部 金城 国俊

腹腔鏡下子宮全摘出術^①における腔断端縫合時間および子宮回収時間の影響と因子についての検討

1. 研究の対象

2020年1月1日～2021年8月31日までの間に、当院女性総合診療部で腹腔鏡下子宮全摘出術を受けられた方

2. 研究の目的・方法

本邦の婦人科領域における腹腔鏡手術は急速な拡大をみせており、当院でも様々な疾患に対する腹腔鏡手術を施行しております。当院での腹腔鏡下子宮全摘出術の治療の実態を解析し、中でも腔断端縫合時間、検体回収時間との関与について調査し、今後の腹腔鏡下子宮全摘出術のより適切で安全な施行を目的としています。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類^②

対象者背景：身長、体重、合併症の有無、既往歴、分娩歴、腹部手術歴の有無、喫煙歴の有無血液検査（Hb）の推移、手術時間、検体重量、出血量 等